

## 学校規模適正化・適正配置に関する地域説明会(会議録)

1 日 時 令和7年7月8日(火)、18:30~19:50

2 開催場所 唐丹小中学校 2階 会議室

3 参加者 16名

4 事務局

### 【教育委員会事務局】

高橋勝教育長、川崎浩二教育部長、笹村聡一総務課長

佐々木薫学校規模適正化推進室課長、岩渕勝也学校教育課長

鈴木隆光学校教育課主幹、川崎克総務課長補佐

谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐

### 【市長部局】

佐々木豊市民生活部長、猪又博史危機管理監、村山明子保健福祉部次長

佐野正治財政課長、立石孝産業振興部付課長、佐々木香建設課長

5 経過

(1)開会

(2)教育長あいさつ

### 【高橋教育長】

本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。

また、唐丹地区の皆様には日頃より唐丹小学校、唐丹中学校の教育に対して、多大なるご支援、ご協力をいただいていることに感謝申し上げます。(中略)

唐丹地区に関わる部分だけではなく、釜石全体の部分も説明を行いますので、その中でもいろんなご意見をお聞かせ願えればと思いますので、よろしく願いいたします。

(3)職員紹介

(4)説明

(教育委員会事務局から説明)

(5)意見交換(質疑応答)

### 【参加者】

基本的には計画案には賛成です。

気になるのは、特色ある学校、小規模校の優位性と言っても、本当に教育委員会、学校がやる気になるかどうか。

現状を見ると校長が3年で代わるとガラッと変わってしまう。教育目標をもって地域と連携しながらやっているとすごく効果が出てくるが、そういう体制を継続させないと意味がない。教育委員会が特色ある学校をどういう手段でどういう風にやるのか。例えば学校の校長を公募するとか、学校体制を継続させないと、せっかくやってきても校長が3年で代わってしまったら全然意味がない。その辺を吟味しないと特色ある学校と言ってもできない。意欲のある先生をどうやって育てるか、地元の先生がなかなかいない中で、趣旨が生かされて継続していくことがかなり難しい。小規模校っていうのはやる気になったら、合同学習だけではない、いろんな自慢できる学習ができる。そういうリーダーを募集するとかそういうことも含めて検討していかないと駄目だと思います。意見です。

#### 【参加者】

中学校の統合を2段階で考えているが、一気に2校にもっていく方法は考えられないのか。どちらが子どもたちにとってメリットがあるのか。時間をかけたほうがいいのか、地域の事情によって考え方がいろいろあると思いますが。

#### 【教育委員会事務局】

唐丹中学校を一旦釜石中学校に令和11年度に統合して、そのあと令和14年度に他の学校も統合するということになっています。これをPTAの皆さんにお話ししたときにも、「令和14年度に1回でいいのではないか」という意見ももちろんありました。PTAの皆さんにアンケートをとった中で、統合の時期とすれば令和12年度に複式学級になる前の段階で統合して、子どもたちにはいろいろと大人数の中で経験をしてもらいたいという意見もあって、今回このような計画を示させていただきました。保護者の皆さんの中にも1回でやったほうがいいのではないかという意見もありましたが、教育委員会としては、複式学級の解消、専門教科の免許を持っている先生から指導を受けることができるということも重視したという経過がございました。

#### 【高橋教育長】

14年度にみんな一緒に統合したほうが子どもたちにとってもメリットがあるのではないかという意見も当然あると思いますので、そういった意見を聞きながら、最終的にどうするか判断したいと考えています。1つは中学校で複式の解消ということですが、実は唐丹中学校は前に1年間だけですが複式になったことがありました。その時は、副校長や養護教諭がつかないなど、人的な配置でも大分学校が苦勞しましたので、教育委員会としては、複式になる前がいいのではないかと判断したところです。

【教育委員会事務局】

その他にも、児童生徒のために配慮したほうがいいこと、あるいは統合することによって心配なこと等、様々想定されるところです。何かありましたら、よろしく願いいたします。

【参加者】

2点確認したいことがあります。

1点目。今はこういう案で動きたいという計画案であって、令和11年に1回統合して、そのあと令和14年度に2回目となっていますが、もしかしたら令和14年度に1回で統合になるかもしれないということですか。変更になる可能性もありますか。

【教育委員会事務局】

4月の唐丹小中学校のPTA総会で基本方針を説明した時に、出席されていない保護者もいるので、概ね方針については了解したが全世帯対象にアンケート調査を実施してほしいということでアンケートをとりました。結果を見ますと、「令和11年度に統合する」「できるだけ早く」という意見を合計すると過半数を上回って、その意見が強いんですけど、一方では「令和14年度に1度に統合する」ことを希望する回答の割合も高くなっています。

今月、市内9か所の会場で地区説明会を、8月には市内全体でパブリックコメントを実施します。そこで意見をいただいて、唐丹地区の場合、令和11年度に中学校を統合したほうがいいのか、それとも14年度に複数校で一気に統合したほうがいいのかということを見極めたいと思います。これはあくまでも今時点の案でございいますので、そういうご理解をお願いしたいと思います。

【参加者】

あと1点。もし統合した場合に、制服や運動着などは新たに買い替えるのか、それとも統合前の学校で使っているものをそのまま使用するのか、そういうところは考えているのでしょうか。

【高橋教育長】

基本的には、新しく入ってくる中学1年生は新しい学校の制服で揃え、2年生、3年生は移行期間ということで、統合前の学校の制服等を使っていくことになるのではないかと考えています。ただ、まだ決定ではありません。今のところは負担をできるだけ軽減するような形が望ましいと考えております。

【参加者】

統合後の校舎の利用について、決まればいいのだが、なかなか難しいと思います。維持管理費もかかるし、学校数の減少により交付税も減少してくる可能性もあります。

また、統合することによって、スクールバスの国の補助金も財政的な面で検討していかなければならないことが出てくると思います。

まず、校舎の利用方法は今どういうことを考えているのでしょうか。

#### 【教育委員会事務局】

今現在、対象校となっている栗林小学校を例にとりますと、体育館は地元のバレーボールのスポ少等で利用されています。校庭はナイター照明がありますので、夏場は特に屋外スポーツでご利用いただいております、そういった社会スポーツの活動の場としての利用がまず1つです。

あとは、栗橋地区の拠点避難所の機能が、小学校校舎の2階以上が避難所になってまして、近隣ですともう一か所、基幹農業集落センターがあるのですが、そのエリアで適正な規模の拠点として間に合うのかどうか、防災の拠点機能も見極めたいと考えております。

#### 【市長部局】

防災面について、唐丹であれば拠点避難所が唐丹小中学校第一、第二体育館、状況によっては「はぐるまルーム」に冷暖房が付いているということで活用させていただいた状況はございます。防災の担当としては、日常の管理がしっかりされているところを避難所として活用したいという基本的な考えがございます。それが各地域から学校がなくなるという状況を踏まえて考えれば、避難の仕方に関しても地域の方々といろいろお話ししながら、例えばの話ですけれども、栗橋のほうから拠点の避難所がなくなったとしたら、大雨が降る際にはあらかじめ早めに避難所を開設することにもしておりますので、各家から避難者を中央に運んでくることは考えておりませんが、バス停から避難者を輸送したりとか、状況によっていろいろなことを考えていかなければ、ということでご理解いただきたいと思います。

#### 【教育委員会事務局】

スクールバスについて、小学校の前期の計画では今のスクールバスの台数で運行できる見込みですが、中学校は統合になりますと、前もって台数とかを考えていかなければならないです。今、スクールバスを購入しますと、国の補助金がありますので、それを活用しながら対応していきたいと思っております。

#### 【教育委員会事務局】

交付税について、よろしいですか。

#### 【市長部局】

小学校、中学校は義務教育なので、国で基本的にお金をみてくれています。交付税の話

がありましたけれども、補助金という形と、交付税という形があります。掛かるお金については、基本的には国できちんと面倒を見てくれるということがあります。ただ、学校1校につき幾らという算定があって、学校の数が減ればもらえる分が減るのはそのとおりです。ただ、学校がまとまるということは、費用もそれだけ圧縮されるという考え方を国では採用しているわけですから、標準的なものをやっている限りは教育に関係するお金はきちんと確保されているという考え方で間違いないと思います。

#### 【高橋教育長】

推進計画の感想や唐丹の部分、全体の計画のことでもいいので何かございませんか。

#### 【参加者】

極めて個人的な感想というか意見なんですけど、私が小学校、中学校のあたりは、もっと人が多くて、クラブ活動なども活発にやっていた記憶があります。クラブ活動について、例えば、スクールバスとかで通わなければならなくなった時、活動時間が制限されることがあると、子どもたちの実力というか、クラブのチーム力に影響すると思うのですが、その点に関してどのように考えているのでしょうか。

#### 【教育委員会事務局】

部活動については、統合されると部活動の種類や人数もある程度確保されていくと考えた場合、部活動の内容を充実できるということもそのとおりなのかなと思います。若干、部活動が終わってからスクールバスで家に着くまでに必要な時間はありますが、部活動について制限がかかることは想定しておりません。

一方で、今部活動の地域移行も議論が進んでおりましたので、今後は部活動の活動場所や参加の形態等、いろいろなパターンが出てくると思いますので、今の部活動の形が今後変わっていくこともイメージしていただきながら、部活動の意義も大切ですので、サポートしていきたいと思います。

#### 【教育委員会事務局】

先日、小野市長が唐丹中学校2年生に対して講話を行いました。学校統合の話題として、「統合に関して生徒の皆さんはどのように考えているのか」という投げかけがありました。その際に1人の生徒から「大石虎舞はどうなるんですか」という質問がありました。唐丹中学校では郷土芸能ということで、一生懸命活動されていることは私も拝見したことがあります。20年前に小川小学校と小佐野小学校が統合した際は、小佐野小学校で小川の鹿踊りを継続してやっているというのがありますけれども、大石虎舞に関しては正直申し上げますとなかなか難しいのかなと思います。

一方で、推進計画策定委員会の中で、地域の皆さんに子どもたちが見守られているとの

言葉がございました。唐丹地区は地域の方々がしっかり子どもたちを見守りながら育てているのかなと私も思ったところですけども、その地域との関わりという部分で、何かお話を頂戴したいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 【参加者】

適正化には賛同する反面、小学校は存続するけれども、いずれ統合されとなれば、世代間交流であったり包括的なケアの部分では課題が上がってくるのかなと、今いろんなことを考えながら話を伺いました。

その中で、建物がこのあとどうなるのか気になるので、同時進行で、廃校後は何になるよとか、そういうところがあると地域の安心材料になっていくのかなと感じました。教育の場とは論点がずれてしまっていますが、唐丹地区は介護保険の事業所がないところ。高齢者、子どもたちが守られるのであれば、そういうところに活動拠点を置いてもらえないだろうかという思いもあります。高齢、福祉、教育の分野と分けるのではなく切り口が1つになってくれたらもっと発信できるものがあるのかなと思っています。どうぞ、検討の方お願いします。

#### 【教育委員会事務局】

実際、統廃合という動きになれば、準備委員会を立ち上げて、まずは子どもたちのために何ができるのかを考えたいと思います。

統合後の校舎利用については、防災やまちづくりの面から、市役所内部で学校統合をどう捉えて、跡地・校舎をどのように利用していったらいいのか、釜石市、地域にとってどういう在り方がいいのかを検討する組織を立ち上げ、話し合いをする場を設けています。校舎自体の躯体がしっかりしているものですから、実際に民間企業からも利用についての話が聞こえております。そういったところもトータルで考えながら、公共施設をどう利用していったらいいのかを一緒に考えたいと思います。

#### 【参加者】

最後をお願いします。

部活動について、統合と絡めて地域移行をどう考えるのか。進展していないですね。地域移行に対して、教育委員会としてなのか、あるいは文科省なのか分かりませんが、事業を受け入れするときにお金がかかる。それに対して補助金や支援などをどういうふうにするか、まだ結論は出ませんよね。学校統合と子どもたちの部活動、スポーツ、文化の地域移行について、併せて考えて進めてほしいなと思います。

#### 【高橋教育長】

教育委員会としても、なかなか部活動の地域移行が進まないのは、1つの大きな課題だと思っています。

【参加者】

郷土芸能だってやり方によってはできるわけですね。

【高橋教育長】

先ほど、大石虎舞のお話がありました。どうしていくのかは地域としても課題だと思っています。学校が統合になっても、子どもたちはこの地域でこれからも生活するということには変わりがないと思いますので、引き続き、唐丹の皆さんには中学生も含めて見守って、支えていただきたいと思います。

また、どうやって大石虎舞を守っていくのかという話が子どもたちから出たとお聞きしました。子どもたちが中学生になって向こうに行っても、子どもたちが、残すために何か自分たちで考えることもあるのではないかと期待している部分もあります。子どもたち自身がいろいろなことを考えて、残すためにはどういう手立てがあるかとか、そして自分たちができない部分については、地域の方々や然るべきところに相談することも、子どもたちにとっては貴重になると思いますので、子どもたちの意見を聞きながら、できることを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

部活動も課題があります。今の計画では14年度には釜石中学校と釜石東中学校の2校体制になると、今度は1つの学校には通う生徒が多くなりますので、その中でどう部活動をしていくかというのも大きな課題であると思っています。その中で地域移行は、釜石東中学校と連携しながら運営・受け皿を確保できないかという部分についても検討していく必要があると思っていますので、担当のスポーツ部局とも相談していきたいと考えています。

【教育委員会事務局】

時間も迫ってまいりましたが、最後に何かお話ししたい方はいらっしゃいますか。

【出席者】

(なし)

【高橋教育長】

(あいさつ)

(6) 閉会